

## 令和7年度 第4回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月17日（火） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 高倉 学、武田 則治、佐々木 聡、長谷 寿美子、田中 朋子、  
高倉 毅文、牧澤 和美、松下 悠里
- 4 欠席委員 名倉 招司
- 5 オブザーバー 新田 浩一（花川町自治会長）、岡埜谷 幸孝（西丘町自治会長）、  
鈴木 克隆（北部協働センター）、佐々木 豊（花川町自治会副会長）、  
武田 弘秋（西丘町自治会副会長）、和田 英雄（民生・児童委員）
- 6 学 校 池野 由香里（校長）、中村 敦（教頭）、伊代田 和隆（教務）、  
中村 好明（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から高倉会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 学校支援について
- (3) 令和7年度学校運営協議会自己評価について
- (4) 令和8年度の学校運営の基本方針について

### 11 会議記録

司会の中村（教頭）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校関係者評価について

議長の指示により、伊代田（教務）から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 児童の評価と保護者の評価に違いが大きいものがある。見方・感じ方等が、児童と保護者に違いがあるのか。（佐々木委員）
- ・ 児童は学校生活を実際に送っているのに、良さを感じやすい。しかし、保護者には良さが伝わり切らない面があるのではないかと。（伊代田（教務））
- ・ 質問と現実にギャップがある。外部の人からの学習は、保護者は児童から話を聞くだけで分かりにくいのではないかと。また、問題解決に利用するのは、本とタブレットを比べたら本は利用しにくいのではないかと。（佐々木委員）
- ・ タブレットの活用が進んでいるので、それはこれからも進めていく。また、本の良さを扱

- う時間も学校は大切にしているの、こちらを進めていきたい。(伊代田(教務))
- ・ 質問の内容によっては結果も違って来るし、今までの結果と比べにくい。質問の内容が大切だと思う。(佐々木委員)
  - ・ 本とタブレットとは全く違った世界だと思う。文字をおってそこから想像していく良さも分かって欲しい。(長谷委員)
  - ・ 学力調査の問題で文章が長いを見ると、小さいうちからもっと本に触れさせる必要があると思った。(松下委員)
  - ・ 私も本を読む機会が少なくなった。(高倉委員)
  - ・ 本を使う場面と、タブレットを使う場面とを区別していけばよい。(高倉毅委員)
  - ・ 学校でも本を読む時間を作ってくれているが、何を読んでいいかわからない。自分で本を選ぶことができない。(田中委員)
  - ・ 自分で好きな本を見つけることができれば素晴らしい。(長谷委員)
  - ・ アンケートの取り方はどうなっているか。(田中委員)
  - ・ 選択式である。(伊代田(教務))
  - ・ 質問の意味がはっきり分からずに答えている人もあるのではないか。(田中委員)

## (2) 学校支援について

議長の指示により、佐々木委員(学校支援コーディネーター)から、別紙資料に基づき学校支援について説明があり、目的・内容共に理解した。

## (3) 令和7年度学校運営協議会自己評価について

議長(会長)から、別紙資料に基づき令和7年度学校運営協議会自己評価について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

## (4) 令和8年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、池野(校長)から、別紙資料に基づき令和8年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ スライドの説明が分かりやすかった。特に、小規模校のよさについて理解できた。(佐々木委員)
- ・ 毎日子供たちの世話で大変なのに、働き方改革で計画を立てたり結果を報告したりするのは大変ではないか。まったく働き方改革になっていない。(高倉毅委員)
- ・ 今まで行っていた教育活動が、学校教育目標のどこに結び付くかよく分かった。(佐々木委員)
- ・ 学校のお知らせを地域の人にも知らせる方法が欲しいような気がする。(田中委員)
- ・ さくら連絡網が使えるのではないか。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ さくら連絡網が使える人は学校関係者に限られている。そのため、地域への発信に使うことは難しいのではないか。(田中委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。